

地震災害予測研究会（第4回）議事要旨

日 時： 2023年1月17日(火) 16:00～18:00

場 所： WEB 会議

出席者： ([]は欠席委員 敬称略)

(委員) 林康裕 和泉正哲 北川良和 腰原幹雄 境有紀 山田哲

(機構) 鈴木 山口 (リスク業務部)

(事務局) リスク業務部リスク研究グループ

議 事：

1. 工学的に作成した被害関数、およびその算定被害率と実績被害率の比較結果を報告した。主な意見は次のとおり。
 - A. 耐力モデルの設定について疑問を持たれることがないよう、今回作成したモデルで仮定している部分がわかるように明示しておくこと
 - B. 今回行った解析を将来再現できるよう、解析方法やパラメータの設定値など応答解析の詳細を明示しておくこと
 - C. 実績被害率との乖離に改善の余地はあるが、不確定要素の多い変形クライテリアに主な乖離の要因があると考え、調整係数を乗ずることに異論はない
 - D. 建物応答の線形域と非線形域で被害の発生の仕方が大きく変わる可能性があるため、損壊被害関数の低震動域と高震動域で考え方を变えても良いのではないか
2. 統計的に作成した一部損以上の被害関数について報告した。主な意見は以下のとおり。
 - A. 例えばRC造では被害関数に階層別の差がみられるが、このような分析結果の要因を考察すること

以 上